

しょうがっこうをおくる会さま プラン特別プロジェクト ご提案 ネパール マクワンプールにおける小学校建設プロジェクト

1. プロジェクトの背景

このプロジェクトは、ネパール国、マクワンプール活動地域で実施を予定しております。



ネパール基本データ

- ・人口: 2,713 万人
- ・5 歳未満児死亡率: 74 人/1000 人
- ・小学 5 年生の定着率: 61%
- ・1 人当り国民総所得 (GNI): 270 米ドル
「ユニセフ世界子供白書 2007」より



マクワンプール活動地域

プランは1978年にネパールでの活動を開始しました。現在はカトマンズにある国統括事務所と6つの現地事務所を拠点に、多岐にわたる地域開発プロジェクトを住民参加のもとで実施しています。

ネパールの首都カトマンズの南に位置するマクワンプール県は、南から北にかけて標高420メートルから2,448メートルと高低差があり、南部は暑く、北部は比較的穏やかな気候となっています。面積の大部分は森林に覆われ、平野は南部にわずかにあるばかりで、その他の部分は丘陵・山岳地帯です。プランが活動するコミュニティでは、90.1パーセントの人々が農業に従事していますが、農業には不向きなやせた土地、不十分な灌漑設備に加え、旧来からの伝統的農法に頼っているために農業生産高は上がりません。1世帯あたりの1年の収穫高は、その家庭の食糧を6ヶ月まかなえる程度であり、人々は苦しい生活を送っています。

教育に関しても、この地域は深刻な問題を抱えています。近年増加する生徒数に対し、教育施設や設備が不足しているほか、教員の数・質ともに不十分で、適切な教育サービスを提供することができません。学校では、1クラスあたり平均60人の生徒が狭く教室で授業を受けており、給水設備やトイレ、図書室、運動場が整っていないことがほとんどです。大多数の学校が同様の問題を抱えているため、政府の財源だけでは各学校の最低限の教育環境を整えることも不可能な状態です。

今回プロジェクトの実施を予定しているシュリー・セティ・デビ小学校も、教育環境の不備に悩む学校のひとつです。小学校はマクワンプル活動地域のティンガン9区という村にあり、近隣の2村を含む合計200人の子どもたちが通っています。全員が、この地域に住む先住民族であるタマン族の子どもたちです。近くに他の小学校がないため、生徒たちは片道平均1時間の道のりを歩いて通学していますが、学校が遠いために通学をあきらめてしまう子どもが後を絶ちません。特に、家庭の水汲みや農作業などの手伝いを任される女の子たちにその傾向が顕著です。

学校には現在5教室がありますが、どれも10平方メートルほどの小さな部屋で、最低限必要な広さの半分も満たしていません。子どもたちは、狭く換気の悪いこれらの教室に詰め込まれるようにして座っており、授業に集中することが困難です。



シュリー・セティ・デビ小学校の現在の様子。

(上左、上)学校には小さな教室があるだけで、運動場もないため、全体を見ても個人宅のようです。

(左)狭い教室ではたくさん子どもたちが密集状態で授業を受けており、学習効果が上がりません。通学意欲も失せ、十分な能力を身につけないまま学校を辞めてしまう子どもたちもたくさんいます。

2. プロジェクトの概要

前述の状況を改善するために、このプロジェクトでは下記の活動を予定しております。

シュリー・セティ・デビ小学校に、約30平方メートルの教室6室を建設します。
尚、プランは現在、学校関係者、子どもたちと保護者たち、地域の人々と学校改善計画の詳細について話し合いを進めているところであり、その結果によって活動内容が若干変更される場合があります。

このプロジェクトの実施により、シュリー・セティ・デビ小学校に通う約200人の子どもたちが適切な環境で授業を受けられるようになります。さらに長期的には、現在学校に通っていない子どもたちをはじめ、より多くの子どもたちが学校に通い、十分な知識を得て成長することにより、地域全体が貧困から少しずつ脱却していくことに貢献します。

このプロジェクトの実現は、MDGs(国連ミレニアム開発目標)* 目標2:初等教育の完全普及の達成 に貢献します。

3. プロジェクトの実施方法

プランが行うプロジェクトは、住民参加型です。地域の人々は計画立案から、実施、進捗管理、評価などプロジェクトのすべての段階に関わり、プロジェクトを中心となって進める役割を担います。地域の人々が計画段階から参加することによって、プロジェクトが自分たちのものであるという意識が強まり、プロジェクト完了後も地域の人々によってこの学校が効果的に運営され、プロジェクトによる成果が継続していく体制が出来上がります。

プランは、地域の人々がプロジェクトを管理運営するために必要なノウハウの講習や、専門家による保健・医療・教育など各分野での専門的能力向上トレーニングなどを並行して行うことで側面から全体を支えます。

* 2000年国連で採択された「国連ミレニアム宣言」の一部で、世界共通の問題に地球規模で取り組むため、2015年までに達成すべき目標として設定されました。全8項目には極度の貧困と飢餓の撲滅、乳幼児死亡率の削減、初等教育の完全普及などが含まれており、プランの目標やミッションと重なります。プランもMDGsに呼応した形で活動を続けています。

4. プロジェクトの予算

このプロジェクトの予算は15,000米ドルで、内訳は以下の通りです。

活動内容	予算(米ドル)
校舎建設(6教室)	15,000
合計	15,000

1米ドル = 116.88円(2007年9月レート)適用の場合 約176万円

プロジェクトの予算がご提示いただいたご寄附額を上回る場合、あるいは為替の変動によりプロジェクトの予算がドル換算したご寄附額を上回った場合は、ネパールでの活動を統括するプラン・ネパールが差額を年間予算より拠出してプロジェクトを完了させます。ドル換算したご寄附額が当初のプロジェクト予算を超えた場合には、原則として差額分はこのプロジェクトに関連する活動に充てさせていただきます。

5. 活動期間・成果のご報告

このプロジェクトの活動期間は、約7ヶ月を予定しております。

尚、天候などの現地事情によって活動期間が前後する場合があります。

また現在予定されている活動が状況により若干変更になる場合もございます。

プロジェクト完了後、報告書を作成し、写真を添えてお届けいたします。

その他、ご要望に応じて随時、進捗状況をご報告いたします。

6. 記念プレート

完成した学校には、ご指定のお名前などを入れたプレートをお付けしております。

ご希望の場合は、お気軽にお申し出ください。

7. お問い合わせ先

財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)

プラン特別プロジェクト担当 寺田 聡子

TEL: 03 - 5481 - 6265 / FAX: 03 - 5481 - 6200

Email: terata@plan-japan.org